

### 現状

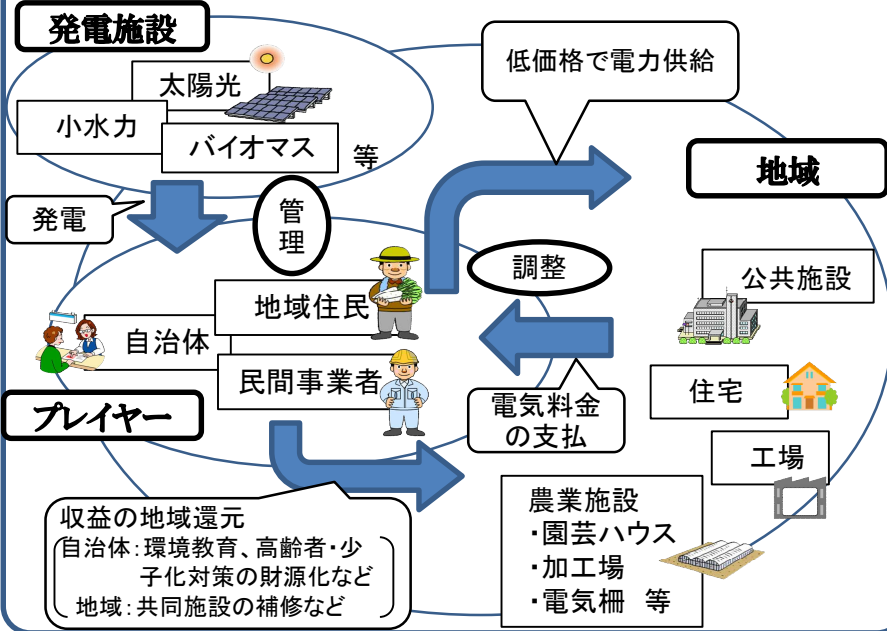
- 本県**
- 再生可能エネルギーのポテンシャルは高い(特に中山間地域)。
  - 太陽光発電を中心に民間の適地の確保や事業化が進んでいる。
  - 自然環境や生活環境への影響が懸念され、その先の地域へのメリットが地域に浸透していない。
- 全国共通**
- (投資や用地確保は旺盛だが)系統への接続の問題で、事業化に至らないケースが発生している。
  - スマートタウンは大規模な開発のレベルでしか実現できない。
  - 再エネの主力電源化に向けて、新規導入だけでなく既存設備の継続利用(卒FIT対策)が進められている。
  - 災害時の対応策として、分散型のエネルギーが注目されつつある。

### 課題

- 市町村や地域(地域資源を持つが、事業ノウハウがない)
  - 再生可能エネルギーの地産地消のメリットを知る機会が少ない。
  - スマートタウンのような大規模な投資は難しい(経費、公平性)。
  - 発電施設の設置や運営のノウハウやマンパワーがない。
  - 非常用電源の確保、エネルギーコストの低減など課題の解決は図りたい。
- 事業者(事業ノウハウは一定あるが、地域資源はない)
  - 再エネ事業を手がけたいが、地域の状況把握が十分できていない。
  - 地域との調和がないと事業化が進まない。

### 高知県が目指す地産地消イメージ

- コストに見合った設備が整備され、地域産の電力を地域に供給し、収益が地域に還流される仕組みが確立されている。
- 地域住民や市町村とノウハウを持った事業者が共同で取り組む、継続性のある体制が構築されている。



### 対策

- ・事業者と自治体や地域をマッチングし、相互にメリットのある仕組みを構築する。
- ・多くの地域で再生可能エネルギーの地産地消を進めるために、高知県の実情に即した、継続性(できれば汎用性)のある手法を確立し、普及する。
- ・上記の基礎となる地域にある資源や課題、人材等の必要な情報の把握を行う。

	R1	R2	R3以降
市町村ヒアリング	→		
検討会の実施(モデルパターンごとの課題整理)	→		
モデルパターンの深掘りとモデル事業の検討(実施地区の選定・体制整備等)		→	
モデル事業の実施			→

### 令和元年度の取組

#### 地産地消型再生可能エネルギー検討会の開催

- 検討内容: 地域のニーズ、他県の事例等をもとに、県内における地産地消の具体的な成功事例を創出するための課題・対策をまとめる。
- 委員: 有識者、発電業界関係者等
- 実施方法: 事業化につなげる視点を重視し、ノウハウのある民間事業者・団体に委託して実施。

#### 論点

- ・地域のポテンシャルの活用方法(太陽光・小水力・木質バイオマス等)
- ・電力の供給先や供給方法と地域還流の仕組み
- ・地域に合った、継続性のある住民・市町村と民間事業者の体制 など

#### 市町村ヒアリング

再エネ適地、市町村や地域の意向・課題意識を把握する。

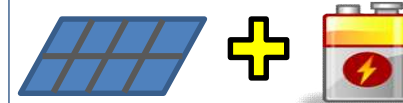
市町村・地域版のこうち型再エネ還流事業自治体新電力等の管理運営組織の設立  
構原町小水力発電のような自家消費策  
既存の再エネ発電施設の更なる活用策

## 非常用電源となる自家消費型太陽光発電等の導入を支援

- 効果：①福祉避難所や医療施設における防災対応力の向上  
②地球温暖化対策への貢献  
③自家消費型太陽光発電の導入促進

<太陽光発電設備 10kW  
+ 蓄電池設備 10kWhの事例>

※ 自立運転時に昼間(8時間)1.5kWの出力+蓄電池に7.5kWh充電



## 高知県福祉避難所等太陽光発電設備導入事業費補助金

## 制度概要

対象施設：福祉避難所・病院・救護病院医療救護所  
対象経費：太陽光発電及び蓄電池設備の導入に係る経費  
補助率：3分の1以内  
補助上限：5,000千円

## 使用できる機器(1日の発電量19.5kWh)

## 【昼間：8時～16時(8時間)】

テレビ 170W 2台 8時間  
ノートパソコン 40W 3台 8時間  
携帯電話充電器 6W 10台 8時間  
プリンター-複合機 320W 1台 8時間  
扇風機 60W 11台 8時間

計 12kWh+蓄電池へ7.5kWh充電

## 【夜間：16時～8時(16時間)】

テレビ 170W 1台 16時間  
ノートパソコン 40W 1台 12時間  
照明 32W 10灯 12時間

計 7kWh (蓄電池の電力を使用)

## 採択事業者の声

医療法人岩河会 岩河整形外科(香美市)  
非常用発電機はあったが、燃料切れが課題となっていたので、補助金を活用して燃料切れのない太陽光発電と蓄電池が導入できて良かった。

## 直近の事例

北海道地震でも自立運転可能な太陽光発電は有効に活用された。

## 募集について

燃料切れにならない非常用電源の確保や地球温暖化対策にも有効な太陽光発電に取り組んでみませんか。

2次募集

募集期間：7月25日～8月30日

お問い合わせは、高知県新エネルギー推進課(088-821-4538)まで